

①総合商社の三菱商事の社員の方々から鮭鱒養殖事業、アルミニウム事業、東北復興支援事業について話を聞かせていただいた時、非常に多彩な業務を行なっていることを知り驚きました。又、日本と海外の宗教観の違いを互いに認め合う事が大事であることを学ばせていただきました。例えば、自分に合わない人に対していきなり攻撃的になるのではなく、まずは相手を理解し、『どうしてこの人はこのように考えるのだろうか?』と一歩退いた視点で考えるのだとおっしゃっていました。『西欧人は日本人より時間にルーズな傾向があるが、その時『なんで遅れるんだ!』とすぐに攻撃をしてはならない。一歩退いた視点で「なるほど、宗教的風習などがあるのだなあ」と考え更に自分から西欧人に適応していくことが大事だ。』という言葉が私の心に深く残りました。私は排他的な面があるので、高校時代に培うべきチカラとして『他者を認めること』を目標の一つとして掲げようと誓いました。また、「社会人になって何か感じたギャップはありましたか?」と聞いてみたところ、『今まで最上級生だったのに社会人になったら一年生に戻る。その時今まで当たり前だと思っていた事が実は社会人になったら通用しない。』と言われました。また、「苦しい時、どのように考え、どのように行動しますか?」と聞いたところ、『自分の努力面が問題だったら無心に努力する。そうでないと感じたら割り切り気にしない、忘れることに努める。また、今は辛いけれど必ず良くなる時期が来る。先を見越して前向きに取り組む。』ともおっしゃいました。実際、商社に入社後は自分が想像するより細かい所(自分は大丈夫だと思っていた事)まで指摘されたそうです。私は辛い時、例えば二高の合格発表の日は「もうダメだ。」と思い「合格発表を見に行くのをやめて早く私立の制服を作りに行ってしまう」とすら考えてしまいました。ダメな自分を実感することが非常に恐怖だったからです。私は今後どんな厳しい状況でも現実をまっすぐ見つめ定めた目標に向かい努力したり割り切ったりして進もう、人々のことを知り自分の意見も言える人間になっていけるよう努力していこうと思いました。三菱商事の皆様ありがとうございました。

②私が三菱化学エンジニアリングという社名を聞いて一番最初に思ったことは社員全員が理系出身でエンジニアリングに詳しい人ばかりなんだろうなということでした。しかし実際、事務の方々には法学部や経済学部を出た方もいらっしゃいました。その方々はエンジニアを支えることを主に行っていてとても大切な仕事をしているとおっしゃっていました。エンジニア会社に文系の方々がいりしたのはとても意外だったのですが文系、理系だからといって入れる会社に制限はないということを知ることができました。三菱化学エンジニアリングは「KAITEKI」な生活を送るためのモノ作りも盛んで例えばスマホに採用されているスマホの画面が明るくなり過ぎない、眩し過ぎない明かりを発する有機EL照明、どこにでも貼ることができる有機薄膜太陽電池などを作ったりしているそうです。有機EL照明、有機薄膜太陽電池共に初めて聞く言葉なのでネットで調べてみました。まず有機EL照明についてですが蛍光灯、白熱電球、LEDと比べると照らす範囲が広く省エネで発熱が少なく薄く軽いです。私も現時点で知っているLEDは照らす範囲が狭く省エネ、寿命は長いです。LEDが点電源であるのに対し有機EL照明は板状にすることができ、まるで一枚の紙のような髪の毛の1000分の1以下(数百ナノメートル)という厚さでしなやかに曲げることができます。また多様な色の表現が出来るようです。LEDと有機EL照明を合わせて様々な場面での照明の活用、照明技術の発展に期待を寄せることができるなと思います。今後が楽しみです。次に有機薄膜太陽電池について、作り方はパターンニングしたITO基板→大気下で基板洗浄・UV・オゾン処理→大気下でPSS水溶液スピコート塗布→大気下で素子になる部分以外のPSS拭き取り→大気下で120℃で10分ベーキング→窒素下で基板加熱120℃10分→窒素下で活性層溶液スピコート塗布1500rpm→窒素下で素子になる部分以外活性層拭き取り→アニール(150℃、20分)→真空下でアルミニウム電極蒸着→窒素下で封止すると完成です。書いているだけでも疲れましたが、よく考えついたなと感心してしまいます。私もこのようなことに気づき便利な物を作り出せる人間になりたいです。その他、モノに限らず地球に優しい環境づくりのための技術開発、例えばバイオエタノールを利用してVIP型ワクチンなどを作っているとおっしゃっていました。このことについては今後調べてみたいと思います。以上のようにエンジニアはモノや技術を一

から開発します。社員の方は『予定・予算が上手くいかず失敗してしまうときは苦労したが自分で特許を取り名前が載るというところにやりがいを感じる』また『英語が重要である』とおっしゃっていました。エンジニアでも書類は英語で作らなければならない外国人の技術本を読むのにも有効だとのこと。そして『勉強は終わらないものである』ともおっしゃっていました。学校では化学を深く学んだ方が入社後バイオエタノールという生物的な内容を研究する仕事に仕事に携わったとおっしゃっていました。幅広い教科で幅広い内容を学ぶことは実は社会人になっても生きるのだと思いました。『皆で一つのことに向かって進むことの経験が大事である』ともおっしゃっていました。三菱化学エンジニアリングではチームでの研究活動が多いそうです。そして『人々に貢献する会社を目指していて「グローバルコンパクト」という原則にのっとり誠実に仕事をしている』とおっしゃっていました。私は高校生のうちから部活やクラスでまとまって行う様々な行事に今より積極的に参加し少しずつチーム性を高めて将来に生かそう、そして社会に貢献し誠実な人間として生きていこうと考えています。三菱化学エンジニアリングの皆様いろいろなお話をありがとうございました。

③私は大きく3つの点に関して勘違いしていました。1つ目は勉強だけしていればよいというわけではない、つまり部活にしっかり取り組むべきだということです。たとえ勉強が大変で辛くてもサボったり止めたりせず三年生の六月の引退までしっかり続けていこうと思いました。二つ目は1日の量よりも学習継続が大事であり、自分のモチベーションを上げることが大事だということです。先輩は、『チャートは例題しか解かない』『速単を1日20章進めた』『参考書を一周したという達成感がなければモチベーションは上がらない』とおっしゃっていました。今まで私は、チャートの例題も練習も EXERCISE も総合問題も解いていました。今後のやり方は先輩の真似をさせていただきます。3つ目は専門外の本も読むべきだということです。様々な領域の本で高校時代に自分の世界を広げることができるとおっしゃっていました。読書は勉強の邪魔でしかないと思っていたのですが、考えを改め、これからはリュックに本を1冊入れ少しずつ読むことを習慣にしようと思いました。以上の3点に加え『文系・理系に限らず受験にも将来的にも英語が重要である』とのことだったので英語に親しんで行ける機会を増やしていこうと意識しました。OBの皆様、貴重な体験談ありがとうございました。